

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【公開番号】特開2014-23876(P2014-23876A)

【公開日】平成26年2月6日(2014.2.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-007

【出願番号】特願2012-168996(P2012-168996)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示演出を実行可能な表示装置を備える遊技機において、  
前記表示装置の前側を移動可能な可動体と、  
前記可動体を第 1 位置および第 2 位置の間で移動させる駆動手段と、  
前記可動体に形成されて前後に開口して、可動体が第 2 位置にある状態で表示装置の前側に臨む開口部と、

前記表示装置における可動体の移動経路と前後に重なる位置に設定された特定領域に特定表示を表示可能な制御手段とを備え、

前記可動体が第 1 位置にある状態で前側から視認可能な特定領域の特定表示は、前記可動体が第 1 位置と第 2 位置との間を移動する途中では可動体に重なって隠されると共に、前記可動体が第 2 位置にある状態では前記開口部に特定領域が臨んで特定表示が前側から視認し得るように構成したことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記開口部は、第 2 位置から第 1 位置に向かう側に開口して、前記可動体が第 1 位置にある状態で前記駆動手段が開口部の開口内に位置するよう構成した請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記可動体が第 1 位置にある状態で前記特定領域に表示する特定表示と、前記可動体が第 2 位置にある状態で前記特定領域に表示する特定表示とを異ならせるよう前記表示装置の表示を制御する請求項 1 または 2 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

この発明は、表示装置を備えた遊技機に関するものである。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

すなわち本発明は、従来の技術に係る遊技機に内在する前記課題に鑑み、これを好適に解決するべく提案されたものであって、表示装置の表示と可動体の動作とによって遊技の興趣を向上し得る遊技機を提供することを目的とする。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

前記課題を克服し、所期の目的を達成するため、本願の請求項 1 に係る発明は、表示演出を実行可能な表示装置(H)を備える遊技機において、  
前記表示装置(H)の前側を移動可能な可動体(102)と、  
前記可動体(102)を第 1 位置および第 2 位置の間で移動させる駆動手段(122)と、  
前記可動体(102)に形成されて前後に開口して、可動体(102)が第 2 位置にある状態で表示装置(H)の前側に臨む開口部(175,176)と、  
前記表示装置(H)における可動体(102)の移動経路と前後に重なる位置に設定された特定領域(H1a)に特定表示を表示可能な制御手段とを備え、  
前記可動体(102)が第 1 位置にある状態で前側から視認可能な特定領域(H1a)の特定表示は、前記可動体(102)が第 1 位置と第 2 位置との間を移動する途中では可動体(102)に重なって隠されると共に、前記可動体(102)が第 2 位置にある状態では前記開口部(175,176)に特定領域(H1a)が臨んで特定表示が前側から視認し得るように構成したことを要旨とする。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 3 に係る発明では、  
前記制御手段は、前記可動体(102)が第 1 位置にある状態で前記特定領域(H1a)に表示する特定表示と、前記可動体(102)が第 2 位置にある状態で前記特定領域(H1a)に表示する特定表示とを異ならせるよう前記表示装置(H)の表示を制御することを要旨とする。  
請求項 3 の発明によれば、あたかも可動体の動作によって特定表示の内容が変化したという感覚を付与することが可能となるので、可動体の動作に遊技者の興味をより一層惹きつけることができる。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明に係る遊技機によれば、表示装置に表示される特定表示と可動体の動作とに遊技者の興味を惹きつけて、遊技の興趣を向上し得る。

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0068】

遊技機については、実施例から以下の技術的思想を把握することができる。

(付記1)

請求項3に記載の遊技機において、

当りか否かを判定する当り判定手段での判定結果が肯定の場合に、遊技者に有利な遊技を行なうよう構成され、

前記特定表示は、表示形態が異なる複数の可動前特定表示および各可動前特定表示の夫々に対応するよう設定されると共に前記当り判定手段の判定結果が肯定である期待値が異なる複数の可動後特定表示を含み、

前記制御手段は、前記可動体(102)が第1位置にある状態では、複数の可動前特定表示から決定した1つの可動前特定表示を特定領域に表示すると共に、前記可動体(102)が第2位置にある状態では、可動体(102)が第1位置にある状態で特定領域に表示されていた可動前特定表示に対応する複数の可動後特定表示から決定した1つの可動後特定表示を特定領域に表示するよう構成する。

付記1の発明によれば、当りとなっている期待値が異なる特定表示を特定領域に表示することで、可動体が動作することに対する遊技者の興味を高めることができる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0070

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0070】

20 遊技領域, 102 可動体, 122 駆動モータ(駆動手段)

175, 176 開口部, D 遊技盤, H 図柄表示装置(表示装置), H1a 特定領域